

### 3 H-11出土の玉類について

今年度の調査で、H-11とした擦文時代の竪穴住居跡から、ガラス玉がヒスイの勾玉や金属製品などと共にまとめて出土した。出土状況や玉類の観察から想定される事例について若干まとめてみたい。

#### 出土状況（図III-27～32、図版21～23）

H-11は牧草地の地表面で浅い凹みとして確認できた。覆土の上層には耕作土、牧草地造成の際の埋土、廃棄されたゴミの搅乱層があったため、これらを除去し、旧表土層を露出させた段階から調査を行った。床はVI層の黄褐色ロームに掘り込まれており、玉類はこの面の直上1～2cmの黒褐色土から一部が数珠状に連なって出土した。出土した当初は上層遺構の存在を想定したが、土層の観察からは、人為的な堆積や盛土は認められず、床面にも遺構の掘り込みは確認できなかったため、竪穴住居跡に伴うものと判断した。

#### 出土遺物（カラー図版8、図III-31、図版55、表7）

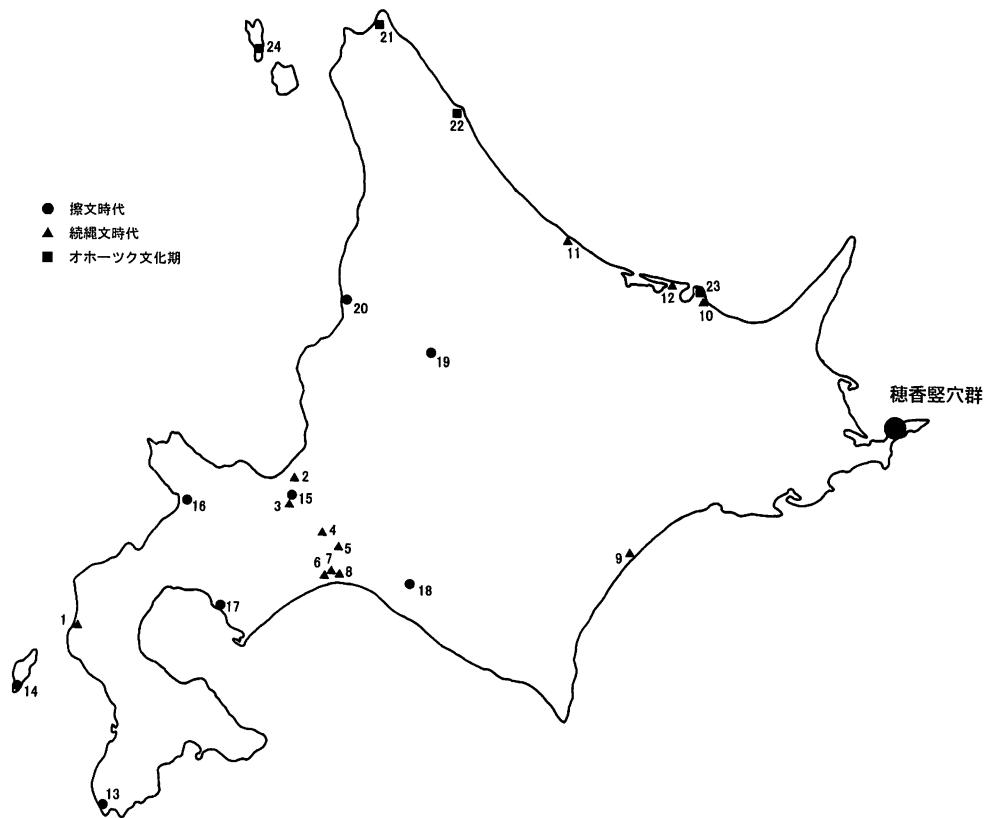
玉類は、土壤水洗で出土したものも含め67点である。ガラス玉は57点でそのうち図化・計測できたものは図III-31に図示した43点である。ほかに金属製品が8点（2点は同一個体）、ヒスイ製の勾玉1点、凝灰岩製の有孔自然礫が1点である。ガラス玉の形態は丸玉が大半で風化が激しい。表面は黒褐色を呈し、その下は白色で発泡したような状態である。中心部分が観察できるものはすべて青色が確認できるので、元は青色の玉であったと思われる。他に風化がみられないものが5点あり、図III-31-14・25・38・42・44でそれぞれ異なる色調である。また、図III-31-14はその形態や色調から統縄文時代のものである可能性が考えられる。整形の方法は、すべて針金状のものに溶けたガラスを巻き付ける、いわゆる巻き付け法で作られている。奈良県飛鳥池遺跡例のような鋳型を用いて製作されたものはない。これらのガラス玉は、北海道大学の小笠原正明氏より研究のため、成分分析を行いたいとの依頼があり、非破壊分析を条件に試料の提供を行った。その結果、ガラス玉の材質は大半が鉛ガラスである。鉛ガラス以外では、図III-31-25・42が鉛石灰ガラス、図III-31-44がカリ石灰ガラスで、これらは風化がみられないガラス玉であった。その後、鉛同位体分析を行いたいと再度依頼があったが、鉛同位体分析は破壊分析を行うことから、接合作業等が終了した後、小破片のため接合し得なかつた個体8点について試料の提供を行った。これらの分析結果に関する報告は現在依頼中である。金属製品はすべて青銅製で、ベルト金具状のものやボタン状のものがあるが、正確な用途は不明である。なお、現場段階でのガラス玉の仮強化は村田が、最終的な保存処理は第1調査部第1調査課の田口尚が行った。

#### ガラス玉の出土例

ガラス玉と金属製品がまとめて出土した例は、伊達市オヤコツ遺跡がある。ガラス玉にヒスイ製の勾玉が伴う例は奥尻町青苗貝塚に見られる。住居跡からガラス玉が出土した例は、表に示したように少なく、出土点数も1～数点である。今回のような出土状況を示す例は、管見する限り穂香竪穴群例が初出である。H-11は玉類以外に出土した遺物は殆どなく、住居廃用の際に持ち出されたと考えられるため、玉類のみが「置き忘れ」たものとは考えにくい。このような「副葬品」的な遺物からは、墓の可能性が考えられるが、調査では掘り込み、埋め戻し、盛土など墓を示すものは確認できなかつた。仮に墓であるとするならば、出土状況から、廃用された住居床面に遺体がそのまま安置され、その後、上屋を含め住居が自然崩落して埋没した状況が想定されるが、はたしてそのような墓制が存在するのかどうか、今後の事例の増加をまって再検討したい。

（村田 大）

穂香豊穴群



ガラス玉出土遺跡一覧（続縄文時代、擦文時代、オホーツク文化期）

時期区分	NO.	出土遺跡	出土状況	ガラス玉の種類	その他玉の種類	時期	備考	文献
続縄文	1	兜野（北桧山町）	住居跡	小玉1		奈良時代		北桧山町教委1965
	2	八幡町ワカオイ地区D地点（石狩市）	第23号土壙墓	玉1点+半欠1点（浅黄？）				石橋孝夫1977
	3	北大構内ボプラ並木東地区（札幌市）	1号墓	丸玉3点（濃青2 半透明青1）		北大式		横山英介1987
	4	柏木B（恵庭市）	第71号土壙	小玉30点（濃青）		北大式		木村英明1981
			第17号土壙墓	小玉1点（青）		後北C2-D		
	5	祝梅川山田（千歳市）	黒層	臼玉1点（濃青）		北大式		田村俊之1991
	6	タブコブ（苫小牧市）	8号墳墓	小玉片13点（青）		後北C2		佐藤一夫・宮夫靖夫1984
			14号墳墓	小玉片2点（青）		後北C2		
	7	共和（苫小牧市）	1-B層	小玉1点（濃青）アルカリ石灰			分析あり	宮夫靖夫1987
	8	静川37（苫小牧市）	1B層	小玉2点（青）アルカリ石灰			分析あり	工藤聰ほか1992
	9	十勝太若月（浦幌町）	土壙24	小玉1点（青）	管玉2点（材質不明）	後北C1		後藤秀彦1975
			土壙26	小玉10点（青）	管玉2点（碧玉）	後北C1		
			土壙85	小玉2点（透明青）	管玉2点（碧玉）	後北B		
	10	南6条アイヌ地（網走市）	土壙	小玉1点（濃青）	小玉20点（石？）	後北C2-D?		島山三郎太1966
	11	砂原2（紋別市）	GP-1	小玉1点（濃青）		後北C2	H1・H5調査	
	12	常呂川河口（常呂町）	ピット300	小玉20点（青紫）		後北C1	頭蓋骨眼球部	武田修1996
擦文	13	札前（松前町）	第21号住居址	板状ガラス片 アルカリ石灰		10C後半	分析あり	久保泰ほか1985
	14	青苗貝塚（奥尻町）	墳墓		勾玉（ヒスイ）、平玉（水晶）			佐藤忠雄1979
	15	K-39（札幌市）	5a層	丸玉3点（青）カリ石灰		後期後半	分析あり	藤井誠二ほか2001
	16	下リヤムナイ（共和町）	堅穴	丸玉5点（青・緑）				大場利夫1958
	17	オヤコツ（伊達市）	方形配石墓II号	約30点アルカリ石灰シリカ	金屬製品	12C土	分析あり	竹田郷雄ほか1933
	18	カンカン2（平取町）	X-1・盛土1層	小玉1点（青）				森岡健治1996
	19	錦町5（旭川市）	MK20堅穴	板状ガラス片 アルカリ石灰		10C前後	分析あり	瀬川拓郎1985
	20	高砂遺跡第2地点（小平町）	第2号住居址	丸玉1点（淡黄）				福士廣志ほか1985
オホーツク	21	オンコロマナイ貝塚（稚内市）	B-1区貝塚下	丸玉1点（瑠璃）			1959調査	大場利夫・大井晴男編1973
			J-23区	丸玉1点（透明）			1968調査	大場利夫・大井晴男編1973
	22	目梨泊（枝幸町）		小玉1点（青）				佐藤隆広1988
	23	モヨロ貝塚（網走市）		丸玉（淡青に白模様）臼玉（淡青または濃青）				大場利夫1973
	24	香深井5（礼文町）	P-11焼土面	小玉1点（紫）				稚市幸生ほか1997
			包含層	小玉2点（青）				
			I層（水洗）	丸玉3点				内山真澄ほか1999

図VI-5 北海道のガラス玉が出土した遺跡

表3 遺構一覧

遺構番号	時 期	位 置	平面形	長軸 (m) 上場 下場		短軸 (m) 上場 下場		深さ	備 考
				10.16	9.72	9.6	9.46		
II-6	縦文時代	0-88~91. P-88~91. Q-88~91	方形	10.16	9.72	9.6	9.46	1.12	カマド2、炉4
II-7	縦文時代	M-66・67. N-66~68. O-66~68	長方形	5.4	5.14	3.46	3.2	0.34	炉1
II-8	縦文時代	I-65~67. J-64~67. K-64~67. L-64~67. M-64~66	長方形	6.7	6	4.5	4.2	0.66	炉1
II-9	縦文時代	M-59・60. N-58~60	長方形	3.66	3.08	3.5	2.94	0.62	
II-10	縦文時代	N-61~63. N-61~63. O-61~63	長方形	4.14	4	3.56	3.38	0.64	炉1
II-11	縦文時代	G-62~64. H-62~64. I-62・63	方形	7.46	7.44	6.83	6.83	0.8	カマド1、炉3
II-12	縦文時代	J-58・59. K-58・59	長方形	5.55	4.08	5.19	3.75	0.35	
II-13	縦文時代	F-50・57. G-55~57. H-56・57	方形	5.76	5.6	5.19	5.1	0.89	カマド1、炉3
II-14	縦文時代	F-52・53. G-52・53. H-52・53	方形	6.28	6.16	5.96	5.8	0.78	カマド1、炉3
II-15	縦文時代	L-53・54. M-53・54	方形	3.5	3.34	3.24	3.14	0.72	炉1
II-16	縦文時代	K-51・52. L-51・52	方形	3.52	3.42	3.04	2.98	0.52	炉1
II-17	縦文時代	H-80・81. I-80・81	長方形	4.8	4.49	4.07	3.77	0.59	炉1
II-18	縦文時代	C-81. D-81・82	不明	—	—	—	—	0.83	カマド1
JP-1	縄文時代	K-49・50	梢円形	2.76	2.09	2.21	1.51	0.6	
JP-2	縄文時代	K-49	梢円形	2.57	1.96	2.03	1.13	0.57	
F-1	縦文時代	M-77							
F-2	縦文時代	M-77							
F-3	縦文時代	M-55・56							
F-4	縦文時代	N-57							
S-1	縦文時代	L-59・60 M-59・60							

表4 掲載復元土器一覧

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他の
										器高	口径	底径			
図III-12	I	47-1	II-7	床(17)・覆土1(83)	N65(I-1)・I-7(床・10)・II-7(覆土1・88)	胴上半部～底部	102	98	(13.0)	5.5	砂粒含む	良		小片多い	
外 面															
縦文時代 後期後半	脇上半部 脇下半部	横沈線	縦ヘラミガキ (縦不明瞭) 縦ヘラミガキ (縦不明瞭) ナデ?	褐色>黒褐色 黒褐色>褐色 褐色	剥がれ多い 部分的に磨耗 凸形で不安定、やや 磨耗	縦ヘラミガキ 縦ヘラミガキ ナデ?	調整	色調	その他	縦ヘラミガキ 縦ヘラミガキ ナデ?	黒褐色>褐色 黒褐色	剥がれ有り 磨耗	その他の	剥がれ有り	剥がれ有り

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他の	
										器高	口径	底径				
図III-21	I	47-2	II-9	床(2)・床1(31)		II-9(床1・30)	胴下半部～底部	33	36	(11.3)	4.6	小礫、砂 粒含む	良			
外 面																
縦文時代 後期後半	脇下半部		縦ヘラミガキ (縦不明瞭) 縦ヘラミガキ (縦不明瞭) ナデ?	暗褐色	全般的に磨耗	縦ヘラミガキ	調整	色調	その他	黒色>黒褐色	暗褐色	剥がれ有り	その他の	剥がれ有り	剥がれ有り	
縦文時代 後期後半	底部		ナデ?	暗褐色	ナデ?	ナデ?	調整	色調	その他	ナデ?	暗褐色	剥がれ有り	その他の	剥がれ有り	剥がれ有り	

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他の	
										器高	口径	底径				
図III-26	I	47-3	II-10	床(0)・覆土1(2)・覆土(1)	N63(I-2)		口縁部～胴上半部	11		(8.7)	20.2	(16.8)	砂粒含む	良		
外 面																
縦文時代 後期後半	口縁部 口縁部 胴上	横四み状沈線 縦平行沈線と斜位平行沈線の組み合わせ(4本単位) 横沈線(2本)	横ナデ 横ナデ 縦ハケメ→横ナデ→(部分的に縦ミガキ) ナデ→縦ミガキ(縦不明瞭、やや粗い)	暗褐色>黒色 暗褐色>黒色 断面角状 煤少量付着 黑色	縦ミガキ 縦ミガキ(縦不明瞭、粗い) 黑色	調整	色調	その他	縦ミガキ 縦ミガキ(縦不明瞭、粗い) 黑色	黑色	黑色	煤付着 煤付着	その他の	煤付着 煤付着	その他の	

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他の	
										器高	口径	底径				
図III-26	2	47-4	II-10	床(5)・覆土(2)		口縁部～胴下半部	7			(17.1)	21.4	11.2	砂粒含む	良	破片大形、補修孔1ヵ所有り	
外 面																
縦文時代 後期後半	口縁部 口縁部 胴上部 胴下部	横位列点・短刻線(文具2種類) 縦平行沈線(4本単位)と斜位平行沈線(2本・3本単位)の組み合わせ	横ナデ 横ナデ 黑色>黒褐色 黑色>黒褐色 煤少量付着 黑色>黒褐色	黑色	縦ミガキ(縦不明瞭、やや粗い) 縦ミガキ(縦不明瞭、やや粗い)	調整	色調	その他	縦ミガキ(縦不明瞭、粗い) 縦ミガキ(縦不明瞭、粗い) 黑色	黑色	黑色	黑色	その他の	黑色	その他の	

穗香豎穴群

図番号	掲載番号	版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他		
										器高	口径	底径					
図III-30	I	47-5	H-11	床(3)	I64(搅乱・174)・J63(II・I)・K63(II・I)	II-11(I)・164(搅乱・45)	口縁部～底部	179	46	37.2	34.6	6.6	砂粒多く含む	やや不良	大形深鉢		
時期		外 面													内 面		
		文 様			調整			色調			その他			調 整		色 調	その 他
擦文時代 後期後半	口唇部 口縁部	斜位列点2段、列点間に横沈線(1本) 綫平行尤線(6、7本単位) と斜位平行尤線(5、6本単位) の組み合わせ 横沈線(6本)と斜位沈線 (4、5本単位)の組み合わせ	縦ハケメ→縦?ナデ	横ミガキ 横ナデ	黒褐色 黒褐色	剥がれ有り 剥がれ有り	横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	黒褐色	剥がれ有り	横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		
	胴上半部																
	胴下半部	黒褐色>暗褐色	剥がれ、補修孔2個有り	縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色>暗褐色	黒褐色>暗褐色	縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	黒褐色>暗褐色	黒褐色	黒褐色>暗褐色	剥がれ有り	縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		
	底部																
	底面	ナデ	暗褐色	黒褐色	黒褐色>暗褐色	黒褐色>暗褐色	ナデ	黒褐色	黒褐色>暗褐色	黒褐色	黒褐色>暗褐色	剥がれ有り	縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区（層位・点数）	肩位（点数）	接合破片出土位置（層位・点数）	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図III-35	1	48-1	H-12	覆土1(1)	J57(II・6)・ J58(II・1)・ J59(II・1)		口縁部～底部	9		7.8	9.4	4.5	砂粒含む	良	小型深鉢
時期	部位	外 面								内 面					
		文 様	調整	色調	その他					調整	色調			その他	
擦文時代 後期後半	口唇部 口緣部	斜位平行沈線（2～4本単位）の組み合わせ	横ミガキ（稜明瞭） 横ナデー部分的に横ミガキ（稜不明瞭）	黒色 黒色						横ミガキ（稜不明瞭）	黒色>黒褐色				
	胴上半部		綫ナデ	黒褐色>褐色						横ミガキ（稜不明瞭）	黒色>黒褐色 (部分的に赤化)				
	胴下半部		縦ミガキ（稜明瞭、やや粗い）	暗褐色						縦ミガキ（稜不明瞭）	黒色>黒褐色 (部分的に赤化)				
	底部		縦ミガキ（稜明瞭、やや粗い）	暗褐色（部分的にやや赤化）						縦ミガキ（稜不明瞭）	黒色				
	底面		ナデー部分的にミガキ	暗褐色（部分的にやや赤化）							黒色				

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区（層位・点数）	層位（点数）	接合破片出土位置（層位・点数）	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他	
									未接合破片数	器高	口径	底径			
図III-44	I	48-3	H-13	床(I)・覆土(43)		H-13(覆土・I2)	口縁部～底部	44	12	24.6	21.9	4.0	砂粒わずかに含む	良	補修孔4ヶ所有り
時期		外 面						内 面							
部位		文 様		調整		色調		その他		調整		色調			
擦文時代 後期後半	口唇部 口縁部	斜位列点（2段） 浅い横位凹み状沈線		横ミガキ（稜明瞭） 横ナデ		黒色>暗褐色 黒色>暗褐色		部分的に煤付着		横ミガキ（稜不明瞭）		黒色>暗褐色		煤付着	
	胴上半部	斜位平行沈線（4～6本単位） の組み合わせ 横沈線（3～4本）		縦ミガキ（稜明瞭）		黒色>暗褐色				横ミガキ（稜不明瞭）		黒色>褐色		煤付着	
	胴下半部			縦ミガキ（稜明瞭）		黒褐色>褐色（部分的にやや赤化）		部分的にハケメを残す、部分的に剥がれ		縦ミガキ（稜不明瞭） 縦ミガキ（稜不明瞭）		黒色>暗褐色			
	底部			縦ミガキ（稜不明瞭）		褐色（部分的にやや赤化）				ナデ？		暗褐色			
	底面			ナデ		褐色									

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区（層位・点数）	層位（点数）	接合破片出土位置（層位・点数）	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	接合部			胎 土	焼成	その他	
									未接合破片数	器高	口径	底径			
図III-44	2	48-4	II-13	カマド覆土(69)		II-13(カマド覆土・23)	口縁部～底部	69	23	31.2	28.5	7.1	小礫、砂粒多い	良	カマド出土
時期	部位	外 面			内 面										
		文 様	調整	色調	その他		調整	色調		その他					
擦文時代 後期後半	口唇部 口縁部	斜位短刻線（2段） 浅い横位凹み状沈線（3本） 継平行沈線（3、4本単位） と斜位平行沈線（3、4本単位）の組み合わせ	横ミガキ（稜明瞭） 横?ナデ	黒色>暗褐色 黒色>褐色			横ミガキ（稜明瞭）		黒色						
	胴上半部		継ミガキ（稜明瞭）	暗褐色>褐色	部分的に煤付着		横ミガキ（稜明瞭）		黒色>暗褐色						
	胴下半部	横沈線（6本）	継ミガキ（稜明瞭）	黒褐色>暗褐色 (部分的にやや赤化)			継ミガキ（稜明瞭） 継ミガキ（稜やや不明瞭）		黒色+黒褐色						
	底部 底面		継ミガキ（稜明瞭） △ラナデ	暗褐色=赤褐色 暗褐色△赤褐色	やや磨耗		ナデ		黒褐色						

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他	
									器高	口径	底径				
図III-53	1	48-5	H-14	覆土(5)・掘 土(23)	M77(II・2)・ H53(I・63)	H-14(覆土・5)・ H-14(掘 土・ 10)・M77(II・3)・ H51(I・1)・ H53(I・43)	口縁部～底部	93	62	32.2	27.9	6.8	砂粒含む	良	無文、補修孔3ヵ所有り

時期	部位	外 面						内 面					
		文 様		調整		色調		その他の		調整		色調	
擦文時代 後期後半	口唇部 口縁部 胴上半部 胴下半部 底部 底面			横ミガキ(稜明瞭) 縦ハケメ→横ナデ ナデ→縦ミガキ(穢や や不明瞭) 縦ミガキ(稜明瞭) 縦ミガキ(稜明瞭) ヘラナデ		黒色 黒色+暗褐色 暗褐色>褐色 暗褐色>赤褐色 黒褐色>赤褐色 暗褐色			横ミガキ(稜明瞭) 斜位ミガキ(稜明瞭) 縦のミガキ(稜明瞭、 やや粗い) ミガキ(穢やや不明 瞭)		黒色 黒色	黒色 黒色	

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・ 出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他	
										器高	口径	底径				
図III-53	2	49-1	H-14	覆土(21)・掘 土(27)・不明(1)	H52(II・1)・ H52(I・3)・ H53(I・2)・ H52(I・ 5)・H53(I・5)	H-14(床・1)・ H-14(掘 土・ 8)・H52(II・ 1)・H52(I・ 5)・H53(I・5)	口縁部～底部	56	20	24.3	20.9	6.3	砂粒含む	良		

時期	部位	外 面						内 面					
		文 様		調整		色調		その他の		調整		色調	
擦文時代 後期後半	口唇部 口縁部 胴上半部 胴下半部 底部 底面	斜位短刻線(3段、羽状) 凹み状沈線(3本) 縦平行沈線の地に斜位平行沈線(4、5本単位)による文 横沈線(5本)		横ミガキ(稜不明瞭) 横ミガキ(稜不明瞭) 横ナデ 横?ナデ		黒褐色 暗褐色>黒色 暗褐色+黒褐色	部分的に煤付着	横ミガキ		黒色>褐色		煤付着	
				縦ミガキ(稜明瞭) 横ナデ→縦ミガキ ミガキ(稜不明瞭)		黒褐色>褐色	部分的に煤付着	横ミガキ		黒褐色>褐色			
								縦ミガキ 縦ミガキ ナデ		黒色>黒褐色 黒褐色 黒褐色			

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・ 出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他	
										器高	口径	底径				
図III-58	1	48-2	H-16	床(8)			口縁部～底部	8		10.7	4.9	8.7	砂粒含む	良		

時期	部位	外 面						内 面						
		文 様		調整		色調		その他の		調整		色調		
擦文時代 後期後半	口唇部 口縁部 胴部 底部 底面			横ミガキ(稜不明瞭) 横ナデ 縦ハケメ→斜位ミガキ (稜明瞭、やや粗い) 縦ミガキ(稜明瞭、や や粗い) ヘラナデ		黒褐色 暗褐色>黒褐色 黒褐色+暗褐色 黒褐色>暗褐色 暗褐色		横ナデ→横ミガキ(稜 不明瞭、やや粗い) 斜位ナデ→ミガキ? ナデ		黑色 黑色 暗褐色		やや磨耗		

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・ 出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他	
										器高	口径	底径				
図III-63	1	49-2	II-17	床(19)			口縁部～底部	19		18.8	17.2	5.0	砂粒含む	良		

時期	部位	外 面						内 面						
		文 様		調整		色調		その他の		調整		色調		
擦文時代 後期後半	口唇部 口縁部 胴上半部 胴下半部 底部 底面	斜位列点(2段) 凹み状沈線(2本) 斜位平行沈線の地に斜位平行沈線(4~7本単位)の文様 横沈線(4本)		横ミガキ(稜明瞭) 横ナデ 縦ハケメ→縦ミガキ (稜明瞭、やや粗い) 縦ミガキ(稜明瞭、や や粗い)		黒色>暗褐色 褐色>黒褐色 黒褐色>褐色		横ミガキ(稜明瞭) 横ミガキ(稜やや不 明瞭)		黑色		黑色		
				縦ミガキ ナデ→部分的にミガキ		黒褐色>暗褐色 暗褐色	部分的に赤褐色化 やや張り出す	縦ミガキ ナデ		黒褐色>黑色 黒褐色		黒褐色		

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・ 出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他	
										器高	口径	底径				
図III-63	2	49-3	II-17	床(75)		II-17(床・28)	口縁部～底部	75	28	21.9	20.5	5.4	砂粒含む	良	無文	

時期	部位	外 面						内 面						
		文 様		調整		色調		その他の		調整		色調		
擦文時代 後期後半	口唇部 口縁部 胴上半部 胴下半部 底部 底面			横ミガキ 横ナデ 縦ハケメ→縦ミガキ (稜不明瞭) 縦ハケメ?→縦ミガキ (稜不明瞭) 縦ミガキ ナデ		褐色>黒褐色 褐色>黒褐色 暗褐色>褐色 褐色>暗褐色 暗褐色	補修孔2個有り 煤少 量付着 剥がれ有り	横ミガキ(稜不明瞭) 横ミガキ(稜不明瞭) 縦ミガキ(稜不明瞭) 縦ミガキ(稜不明瞭) ナデ		黑色 黑色 黑色>褐色 黑色>暗褐色 黑色		煤付着 煤付着		

穂香堅穴群

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図IV-1	I	49-4	L56(II・2)・N55(II・11)・M56(II・19)		L56(II・1)・M55(II・12)・M57(II・2)	口縁部～胴下部	32	15	(20.5)	23.0	(7.2)	砂粒含む	良	補修孔5ヵ所有り	
時期 部位															
擦文時代 後期後半	口唇部	文 様		調整		色調		その他		調整		色調		その他	
	口縁部	短刻線(2段)		横ミガキ(稜や不明瞭) 横ナデ		暗褐色				横ミガキ(稜不明瞭)		暗褐色			
	胴上半部	縦平行沈線の地に斜位の平行沈線(4～6本単位)で山形縞		横沈線		ナデ		暗褐色		横ミガキ(稜や不明瞭)		暗褐色			
	胴下部	縦ミガキ(稜や不明瞭)		縦ミガキ(やや斜位気味 稜やや不明瞭)		暗褐色>褐色		一部赤褐色		縦ミガキ		暗褐色			

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図IV-1	2	49-5	M56(II・27)・N56(II・1)			M56(II・2)	口縁部～胴上半部	28	2	(9.0)	17.7	14.3	砂粒含む	良	
時期 部位															
擦文時代 後期後半	口唇部	文 様		調整		色調		その他		調整		色調		その他	
	口縁部	刺突列(2段)		横ミガキ(稜不明瞭) 横ナデ		褐色		やや磨耗		横ミガキ(稜明瞭)		褐色			
	胴上半部	縦沈線(2本単位)、斜位沈線(2本単位)の組み合わせ		縦ミガキ(稜不明瞭)		褐色>暗褐色		やや磨耗		横ミガキ(稜明瞭)		褐色			
刺突列(3段)															

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図IV-3	1	52	N51(II・4)・N52(II・36)			N51(II・30)・N52(II・25)	口縁部～胴下部	40	55	(31.8)	24.3	(5.4)	砂粒多く含む	良	繊維含む
時期 部位															
繩文時代 後期 北簡Ⅲ式	口唇部	文 様		調整		色調		その他		調整		色調		その他	
	口縁部	LRL複節斜縞文		ナデ		暗褐色		動物意匠付突起4ヶ所		横ナデ		褐色>暗褐色			
	胴部	肥厚帶RRL複節斜縞文、棒状隆起帶4ヶ所円形刺突 無文帶円形刺突 複節羽状縞文		ナデ		赤褐色>暗褐色		赤褐色>暗褐色		横ナデ		黒褐色>褐色			
外 面															

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図IV-4	2	51-2	L51(風倒木・10)・P51(II・7)・N51(II・2)・N52(II・37)			L50(風倒木・4)・L51(風倒木・5)・M50(II・12)・M51(II・2)・M52(II・2)・M52(III・16)・N50(III・8)・N51(II・11)・N52(II・4)	口縁部～胴下部	56	64	(41.0)	28.0	(14.4)	小 穂、砂粒多く含む	良	繊維含む
時期 部位															
繩文時代 後期 北簡Ⅲ式	口唇部	文 様		調整		色調		その他		調整		色調		その他	
	口縁部	R L R複節斜縞文、突起部円形刺突 肥厚帶R RL複節斜縞文、円形刺突、突起部圓押壓 無文帶円形刺突 R L R斜縞文		ナデ		褐色>暗褐色		ナデ		褐色>暗褐色		横ナデ		暗褐色	
	胴部	ナデ		褐色+暗褐色		褐色+暗褐色		ナデ		暗褐色		暗褐色			
外 面															

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図IV-4	3	51-3	M51(II・36)			M51(II・261)	口縁部～胴下部	36	261	(28.7)	22.6	(13.1)	砂粒多く含む	良	繊維含む
時期 部位															
繩文時代 後期 北簡Ⅲ式	口唇部	文 様		調整		色調		その他		調整		色調		その他	
	口縁部	R L R複節斜縞文、突起部圓押壓 R L R斜縞文		ナデ		暗褐色>褐色		剥がれ多い		横ナデ		暗褐色			
	胴部	ナデ		暗褐色		暗褐色		横ナデ		暗褐色		暗褐色			
外 面															